

経営比較分析表（平成30年度決算）

千葉県松戸市 松戸市立総合医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	32	対象	I未訓方	救臨が感災地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
496,571	47,021	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

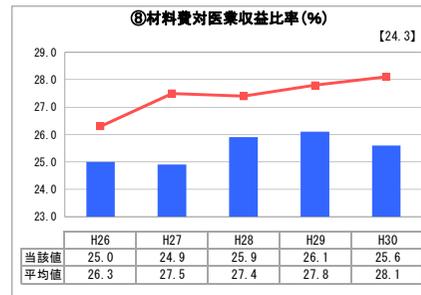
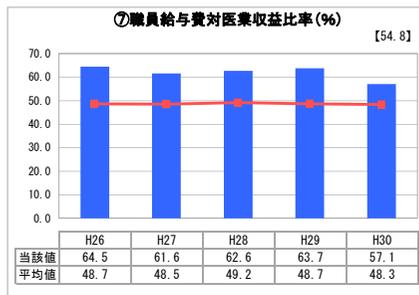
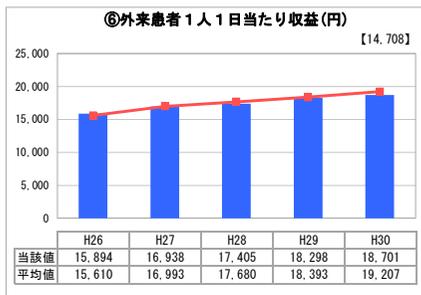
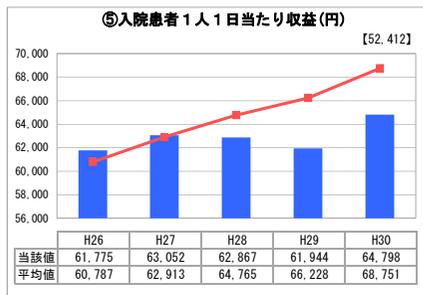
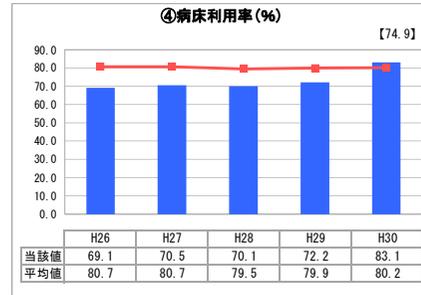
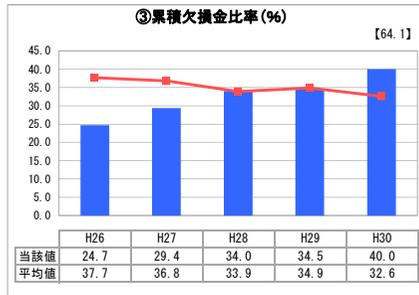
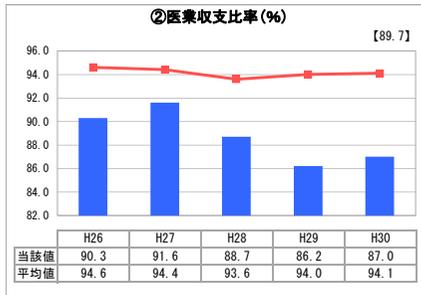
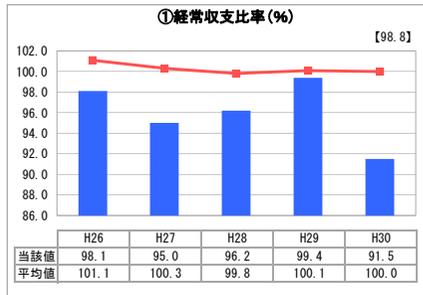
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
592	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	8	600
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
592	-	592

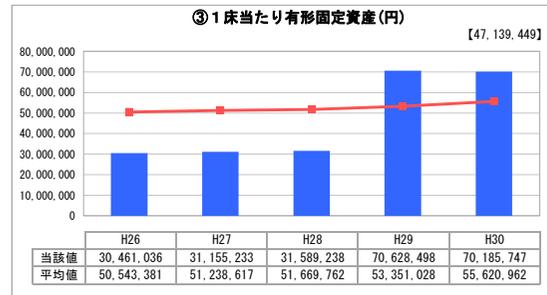
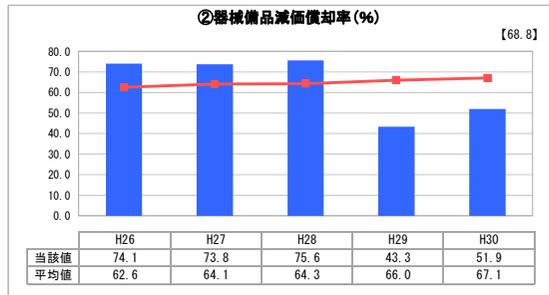
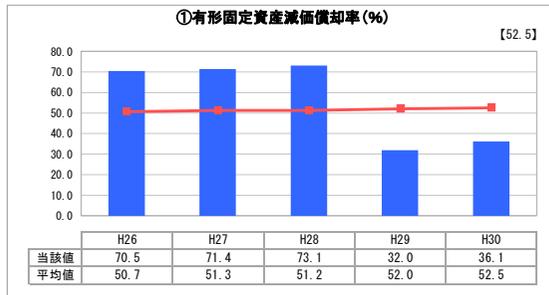
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

地域の中核病院として、主に急性期医療を中心とし、一般診療のほか、3次救急や小児・周産期医療、特定疾患治療の充実を図るとともに、夜間小児急病センターに医師を派遣するなど、市民への良質で安全且つ安心な医療サービスの提供に努めている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益面では、病床利用率、入院患者1人1日当たり収益及び外来患者1人1日当たり収益の増により、医業収益が大幅に増収した。
 損益面では、平成29年12月に新築移転したことにより、多額の減価償却費が発生したものの、医業収益が大幅に増収したことで、職員給与費対医業収益比率、材料費対医業収益比率、及び医業収支比率は改善している。
 しかしながら、累積欠損金比率、職員給与費対医業収益比率は平均値を上回り、経常収支比率も100%を下回っているため、引き続き、収益の増加及び費用の適正化に努めていく。

2. 老朽化の状況について

平成29年12月に新築移転しており、有形固定資産減価償却率は平均値を下回っている。

全体総括

経営の健全化・効率性については、新公立病院改革プランとして策定している経営計画に基づき、救急医療の強化、地域医療支援病院機能の強化、手術部門の強化等の推進により、医療の質の向上を図り、患者数及び患者1人1日当たりの収益の増加を確保していくとともに、費用の適正化にも取り組み、経営改善を進め、地域への役割を果たしていく。

老朽化の状況については、平成29年12月に新築移転しており、建物及び医療機器等の老朽化の度合いは低い。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。